

第9回

平成16年6月30日(水)午後7時～9時

若松地域センター

区長・助役

福祉部長・教育委員会次長

企画課長・広報課長・若松特別出張所長・副参事(少子化対策計画担当)

参加者32名(男15 女17)



計画に対する意見・提案

計画全体

年金問題の関係で出生率が話題になり、少子化問題を高齢者が考えるきっかけになってよかった。

達成度はどうかたちで、誰が、どこで評価するのかタイムリーに公表してほしい。増加する結婚・出産等のリスクを避ける女性に対する施策が必要ではないか。

18歳から社会人となるまでの若年層の支援が少ないのではないか。

少子化対策には若者の経済的安定が必要。

若い人が結婚しやすい環境をつくってもらいたい。

新宿中央公園を安心して子どもが遊べる場所にしてほしい。

子育て世代の経済状況の調査やったら状況が明らかになるのではないか。

オーストラリアでは出産のとき経済的援助をすること決めたという新聞報道があったが、日本においても、区、都、国と連携して次世代育成支援を進めてもらいたい。

男性の子育てを応援して、意識と取り巻く環境をかえてほしい。

計画(素案)に子どもから高齢者まで住んで楽しい街づくりの拠点となるよう活動している地域センターに関する記述がないのは残念だ。ぜひ記述してほしい。

スポーツ交流会、チャレンジスポーツ文化クラブをボランティアで活動している。この活動のなかで後輩の面倒をみるという世代間交流もみられ、健全な子どもが育っている。この活動もボランティアの人も疲れてきたので支援をしてほしい。

学校関係

子どもとのかかわり方は、繊細なものがあるので、小人数学級が実現できないか。

学校にはカウンセラーが派遣されているが子どもの相談内容が守秘義務により明らかにならないことが心配である。

学童クラブの充実

学童クラブの学年延長6年まで対応してもらいたい。

幼保の連携・一元化

中町保育園・愛日幼稚園の連携について賛成でも反対でもないが、子どもにとってよい環境ができればと思う。

多様な主体による運営

保育施設での企業への参入についてどう考えているか。

きめこまやかな支援

悩む保護者に対してメール相談のような事業をやってほしい。